

2010年春 白老町白老沿岸におけるサケ幼稚魚生息環境速報(第4報)

水産総合研究センターさけますセンター千歳事業所

2010年6月1日、北海道白老町白老沿岸において、水温、プランクトン湿重量及びサケ稚魚の出現状況を調査しましたので概要をお知らせします。



観測場所：白老町竹浦地先
緯度：42° 29' N
経度：141° 17' E
水深：20m

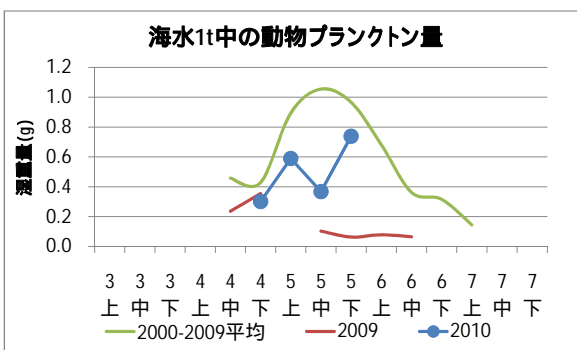
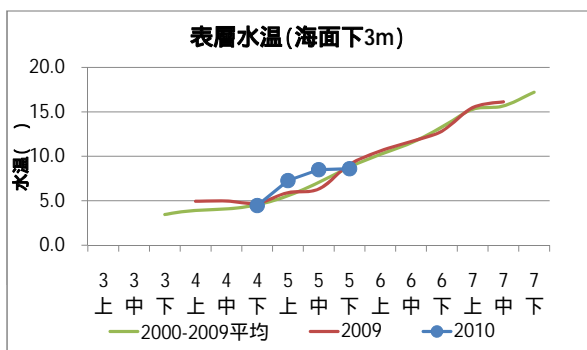
今期の特徴

・表層水温は前回調査(5月18日)とほぼ変わらず、過去10年平均とも、ほぼ同じ温度でした。一方、底(20m深)の水温は6 台になり、前回調査より上昇しています。
・サケ稚魚の採捕数は、当調査点(離岸距離1.5km)より岸寄りの調査点(離岸距離1.0km)において455尾が採捕されており、岸寄りの調査地点では、依然としてサケ稚魚の分布密度が高まっているものと推測されます。
・今回の調査では体長10cm前後の幼魚が多数捕獲されました。

2010年6月1日の調査結果

表層水温は	8.6
・前年に比べ	低い
・過去10カ年平均に比べ	ほぼ同じ

プランクトン湿重量は	739 mg
・前年に比べ	多い
・過去10カ年平均に比べ	やや少ない



サケ稚魚採捕数は	1尾
・前年に比べ	少ない
・過去10カ年平均に比べ	少ない

